

生成 AI 時代だからこそ身につけたい 他社と差がつく情報収集・利活用ノウハウ

～日本成長戦略×未来洞察×「情報の生け簀」が生み出す競争優位～

講 師 (株)日本能率協会総合研究所 MDB 事業本部 エグゼクティブ・フェロー 菊池 健司 氏

日 時 2026 年 9 月 11 日 (金) 午後 1 時～5 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信 (2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F

【参加者限定特典】

「2026 年秋版～未来洞察のために知っておきたい最新ビジネス情報源リスト 2040」を進呈

【講義のポイント】

- ・変化が激しい今の時代を生き抜くために重要な「未来洞察視点」によるビジネス情報収集・利活用ノウハウをふんだんにお届けいたします。
- ・2026 年度も第一四半期が終わり、既に第二四半期に突入していますが、前々からお伝えしている通り、意外なビジネス連携、意欲的な新規ビジネス参入を見据えた各社の取り組みがさらに顕在化した印象があります。各社の未来戦略を俯瞰して見ても明らかな傾向です。
- ・少なくとも 10 年後位のビジネス環境を見据えながら、バックキャスト視点での新規ビジネスあるいはこれまでもとは異なる売り先の検討を各社が血眼になって進めています。私自身、各社の支援業務をさせていただきながら、様々な取り組みを目の当たりにしてきました。
- ・2026 年 7 月、高市政権による「2026 年版の骨太の方針」がまとまりました。2025 年秋にスタートした「日本成長戦略会議」をベースとした新たな日本の成長戦略は、17 の成長戦略分野をはじめとした官民ロードマップを描いており、「攻め」の姿勢を鮮明にしています。当然、この 17 分野をターゲットにしていける企業は増加していくでしょう。
- ・世界各国においても、様々な成長戦略が描かれています。グローバル展開を進める企業においてはもちろん、日本で成功するためにも、世界の動きを見ておく必要があります (詳しい背景は当日お伝えいたします)。
- ・本セミナーでは、そうした国内外の最新の成長戦略も参考にしながらも、生成 AI 時代だからこそ知っておきたい未来洞察につなげるための「ビジネスデータ」の読み解き方について、詳しく解説いたします。
- ・もちろん、未来の注目ビジネスについても、解説させていただきます。
- ・生成 AI 時代だからこそ、頭の中の「情報の生け簀」をいかに育てていくかが、熾烈な競争の優勝劣敗を分けるカギとなると考えるのは私だけでしょうか。AI 時代だからこそ、人間ならではの発想の重要性がさらに増す時代が到来する…というのが私の考えです。
- ・今回のセミナーでお届けする「10 年先を見据える視点」や「未来の産業構造の変化」そして「未来の顧客の変化」(もちろん BtoC、BtoB 問わず)を「情報」を通じてどう読み解いていくかという考え方は、きっと貴社の今後の事業展開のお役に立つと確信しています。
- ・大切なことは、常に未来を意識し、自身で未来を構想／創造していくことです。顧客も未来に対する明確な答えを持たないこの時代、顧客に対して「未来の絵姿」を見せることができる企業こそ、勝ち組になっていくと予想します。
- ・意外に学ぶ機会がない「ビジネスで成功するための情報収集手法」については、見ておくべき最新情報源の解説も含め、もちろん最新情報満載でお届けいたします。

【重点講義内容】

早いもので、2026 年度も後半に突入しようとしています。「フィジカル AI 元年」といわれる 2026 年、世界中でヒューマノイド (人型ロボット) の活用が進みはじめ、製造現場、物流現場等に大きな影響を与えています。日本では、高市政権による一丁目一番地の政策である「日本成長戦略会議」の議論がまとまり、新たな国の成長戦略として、17 の成長分野にフォーカスした官民ロードマップをはじめ、「攻め」の戦略が公表されています。皆様は今後、どの産業分野に白羽の矢を立てておられるでしょうか？もちろん、今回の 17 分野に限らず、ビジネスシーンにおいては狙っていききたい分野が他にも数多く存在しています。

既に、世界各地で新たなビジネスが誕生し、注目すべき事象が数多く登場してきています。スタートアップトレンドはもちろんのこと、ディスラプター (未来のプラットフォーム) の動きを見ても、5 年後 10 年後の世の中の様相は大きく様変わりしていくでしょう。2026 年度もやはり、意外な業務提携をはじめ、様々な M&A 案件が数多く確認されました。生成 AI においては、世界中でのテクノロジー進化合戦、投資合戦が活況を呈しています。いずれプラットフォームが集約されていくと思われませんが、2026 年度時点ではまさに秒進秒歩での開発合戦が進み、日替わりで主役が入れ替わるような事象すら起こってしまっています。

「未来」の顧客の動きやビジネスシーンをどう捉えることができるか…大企業からスタートアップに至るまで、新たなビジネス探索活動にまさに虎視眈々です。私自身、長年に渡り、数多くの企業において未来のビジネスリーダーや企業役員の方に対して、「未来洞察」の考え方をワークショップや研修・セミナーを通じて、日々お伝えしていますが、その反応を見ても、大げさではなく、未来のビジネス環境の「予見・洞察力」は、企業の優勝劣敗を決めていくと確信しています。ビジネスの拡大、特に新規事業・新サービス創出のために、より「視野」を広げ、「視点」を変え、「視座」を高めていく必要があります。

今回のセミナーでは、生成 AI 時代だからこそ知っておきたい「未来洞察」の考え方をしっかりとお伝えしながら、5 年後 10 年後、さらにその先のビジネスチャンスについて、できる限りお伝えしたいと考えております。ICT 関連企業の皆様はもちろん、様々な業界の新規事業責任者／担当者、そして未来探索等に携わる経営者、マネジャー、戦略立案担当者、R&D 部門担当者様におかれましては、必ずやお役に立つ内容となっております。

1. 未来を見据える上で重要な最新注目調査トレンド

- ・2026 年度の注目調査トレンドを振り返る～特に注目されたのは… ・順当な傾向そして意外な傾向とは…未来を読むための視点
- ・2027 年以降、皆様のビジネスシーンに影響を与える大きな要素とは…

2. 未来洞察のための最新ビジネス情報収集手法

- ・一次情報と二次情報の重要性を知る…これから重要なのは実は… ・顧客からの情報の引き出し方 ・ある企業に学ぶ上手い「仕掛け」とは
- ・顧客が教えてくれた未来を読むための視点 ・情報収集には意外に学ぶ機会がない確固たるセオリーが存在する
- ・新規事業成功確率において定評ある企業が見ているのは実は… ・情報収集で使える情報源の種類と特徴 (文献・Web・データベース etc)
- ・BtoB／BtoC／BtoBtoC、製造業／サービス業、地域／世界それぞれの視点 ・ビジネスリサーチを助けてくれる生成 AI の活用ポイント解説
- ・他社と違う視点を有するために大切なことは… ・横軸を拡げるために、日々やっておきたいこと～人がやらないことに価値がある
- ・成長ビジネスにおける情報収集ケーススタディのご紹介

3. 混沌の時代だからこそ知っておきたい「未来」を見据える視点の育て方

- ・高市政権「日本成長戦略」における注目ポイント解説 ・これから見ておきたい国策とは… ・世界における注目成長戦略、テクノロジー戦略のポイント解説
- ・「川上」から世の中を把握する、クイックに頭の中に生け簀をつくる ・確実に来る未来を押さえておく ・需要と供給のギャップが生じている市場の捉え方
- ・M&A、業界再編トレンドから生まれる新たな産業を予見してみよう ・生成 AI 時代だからこそやっておく価値があること…いつの時代もヒントは反対側にある
- ・情報を結びつけて「次」を考え、さらにその「次」を妄想する ・国内外の注目スタートアップイベントのご紹介
- ・AI 領域以外で注目しておきたいディスラプター (業界破壊者) の存在とは… ・未来シナリオを描く上で大切なこと

4. 必見！これだけは知っておきたい注目ビジネスに関するポイント解説

- ・5 年後 10 年後、さらにその先に向けて…注目しておきたいビジネスに関するポイント解説 ・もちろん成長産業が重要、但し…
- ・「テクノロジー」と「市場」はまさに両輪 ・ある新興企業を見ていて気付いた未来のビジネス創出のヒント
- ・最近、企業役員の方からよく聞くフレーズとは…

5. 「未来洞察」のために AI 時代だからこそ注視しておきたい最新ビジネス情報源のご紹介

- ・未来探索、そして新規事業責任者／担当者が今最も読んでおきたい必読書とは
- ・青田買い！必見の海外テック系サイトとは、そして見ておきたい「注目人」は？ ・バリューが高いお勧め会員制メルマガ、会員制ニュースソース
- ・新規事業担当者向け国内・海外の Web サイト、商用データベース、ニュースアプリ

6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 菊池 健司(きくち けんじ)氏

1990 年 日本能率協会総合研究所入社、マーケティング・データ・バンク(MDB)配属。外資系金融機関での勤務を経て、現在に至る。MDB は、2026 年 7 月現在、約 2,000 社の会員企業を有する日本最大級のビジネス情報提供機関。民間企業、官公庁、独立行政法人、大学、自治体等からの要請に応じ、公開情報を中心とした情報提供業務に長年携わる。現在は、リサーチ力を基盤とした企業の未来戦略・新規事業策定の伴走支援を中心に、情報収集・活用手法解説セミナー・研修、未来洞察手法研修、特定ビジネスに関する将来トレンド解説、未来人材育成(役員研修～新人研修まで広く)等を実施しており、日々顧客の未来づくりに伴走している。2024 年 11 月より、ラジオ NIKKEI「グローバル・ビジネス研究所」(毎週木曜日 12:00～)にメインパーソナリティとして出演中。(URL: <https://www.radionikkei.jp/globiz/>)2023 年 10 月より、FM 軽井沢「軽井沢ラジオ大学～菊池健司の 5min.グローバル経営学」(毎週月～金 19:53～)に出演中。(URL: <https://www.karuizawaradio.university/bn-5min.html>)。

【主な支援実績】・自動車関連 A 社:研究部門向け未来予測プロジェクト。・食品関連 B 社:食の未来探索プロジェクト。・化学関連 C 社:未来のヘルスケアビジネス探索プロジェクト。・機械関連 D 社:未来のビジネス環境に関する定例勉強会。・ICT 関連 E 社:顧客の未来サービス探索プロジェクト。・金融関連 F 社:役員/次世代リーダー向け未来洞察研修。他多数。

【セミナー・研修等】日経ビジネス、日本経済新聞社、東洋経済新報社、日本能率協会、日本能率協会マネジメントセンター、新社会システム総合研究所、R&D 支援センター、サイエンス&テクノロジー、東京都経営人財育成スクール NEXT、プロネクサス、日本私立大学連盟他多数。

【主な著書・論文】「Learning Design」(日本能率協会マネジメントセンター)※書籍に学ぶビジネストレンド連載。「今週の読まぬは損」(日本能率協会マネジメントセンター J.H.倶楽部連載中)。(URL: <https://jhclub.jnam.co.jp/acv/>)「未来予測による研究開発テーマの決め方」(SDGs の経営・事業戦略への導入と研究開発テーマの発掘、進め方)(技術情報協会)他多数

- 受講料 各受講方法 1名につき 34,650円(税込)
同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様は、追加料金11,000円(税込)でアーカイブ配信を承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。
お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。

可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について

<1>Zoomにてライブ配信致します。 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

<1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。 <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

9月11日(金)		「他社と差がつく情報収集・活用ノウハウ」		申込日 月 日	
貴社名					
所在地	〒				
参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□にお入れ下さい。)					
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信	
フリカ'ナ氏名	所属部署・役職				
TEL	()	—	FAX	()	—
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				
参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。(アーカイブ配の追加受講をご希望の場合は、2つ□にお入れ下さい。)					
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信	
フリカ'ナ氏名	所属部署・役職				
TEL	()	—	FAX	()	—
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				
※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。 K					
通信欄					

●E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]

- セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
- ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
- ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
- ※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓



■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26414-M